

コンドートック株式会社

第66回 定時株主総会

平成30年6月26日



株主総会議長

代表取締役社長 近藤 勝彦




監査報告

常勤監査役	河瀬	哲夫
監査役	村辻	義信
監査役	中川	雅晴

報告事項




1. 第66期事業報告、連結計算書類
並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
2. 第66期計算書類報告の件

外部環境

- 北朝鮮情勢などの
地政学的なリスク 
- 企業収益、雇用環境 
- 設備投資、個人消費 

緩やかな回復基調

関連業界

- 民間・公共投資 
- 住宅投資 
- 東京五輪関連事業の
人手不足による
物件の進捗遅れ 

厳しい状況が続く

6 期連続 増収増益

(百万円)

	前 期	当 期	前期比 (率)
売 上 高	50,410	52,811	+4.8%
営 業 利 益	3,516	3,537	+0.6%
経 常 利 益	3,614	3,655	+1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,497	2,523	+1.0%

産業資材



足場吊りチェーン

売上高

(百万円)

29,833

30,262

前 期

当 期

セグメント利益

(百万円)

2,261

2,030

前 期

当 期

- 国内建設市場は、民間・公共工事ともに底堅く推移
- 輸入商材等の仕入原価の上昇
- 運賃、人件費等の販売管理費の増加

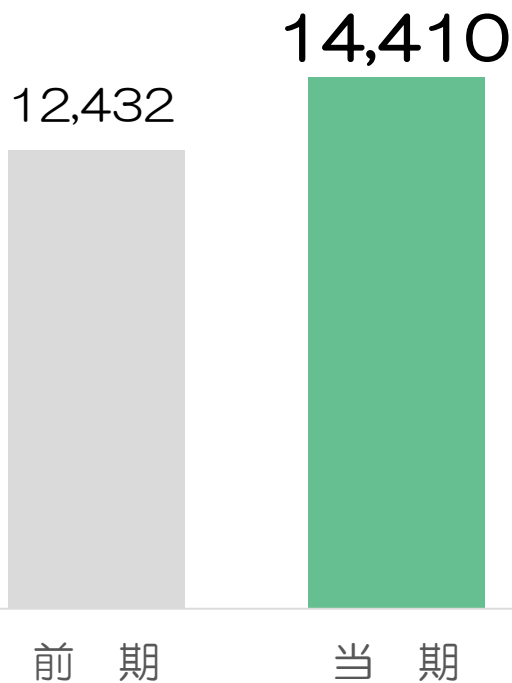
鉄構資材



アンカーボルト

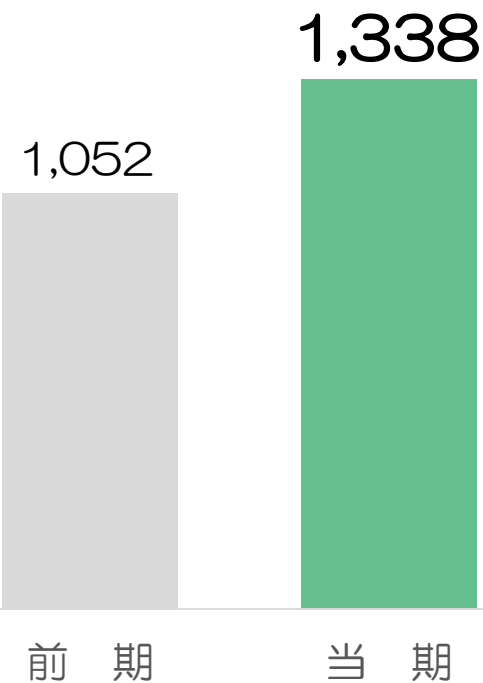
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



- インバウンド向け宿泊施設等の中低層物件の需要増加
- 仕入原価の上昇、販管費の上昇を増収効果で吸収

電 設 資 材



LED照明

売 上 高

(百万円)

8,144

8,138

前 期

当 期

セグメント利益

(百万円)

202

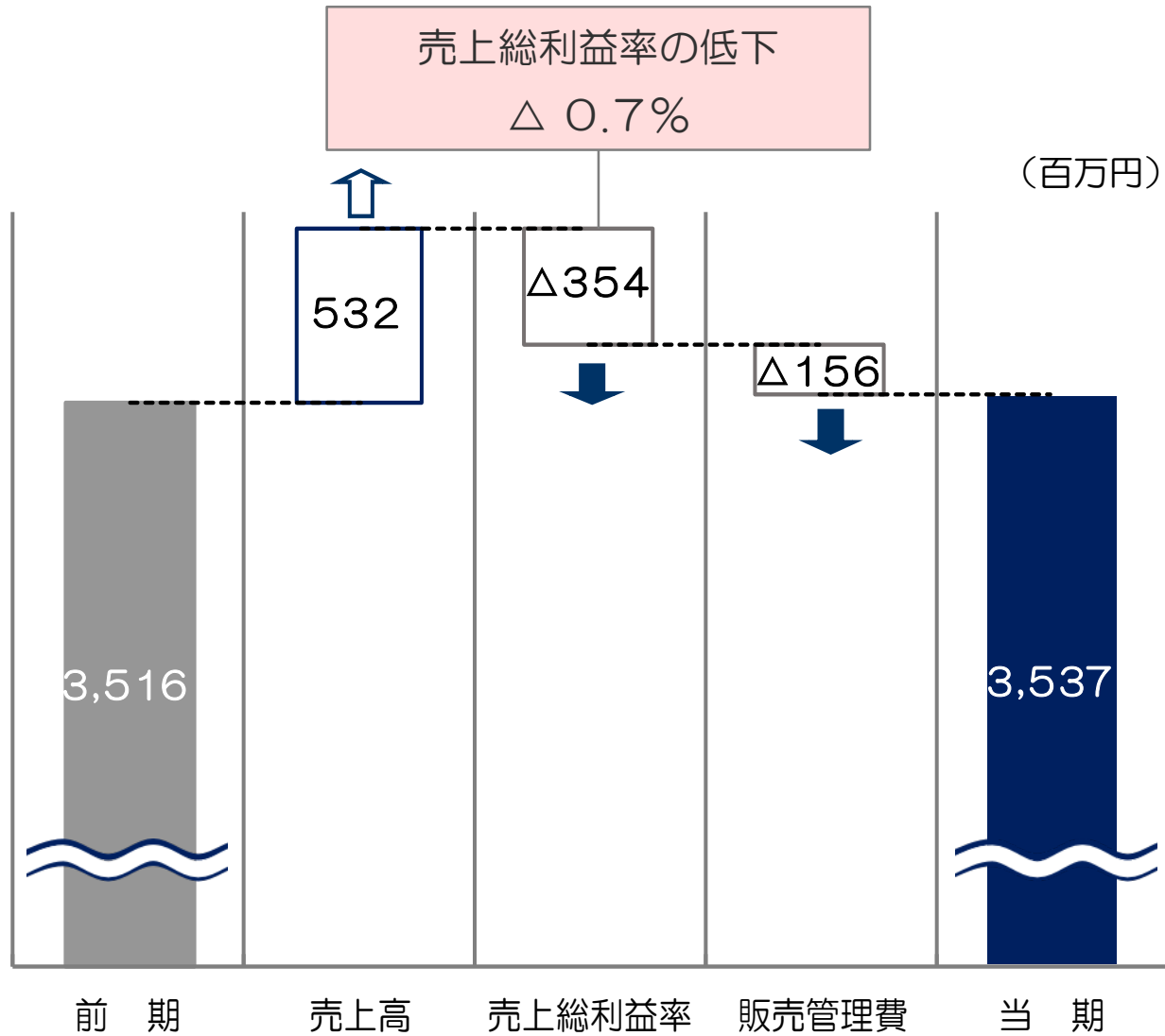
183

前 期

当 期

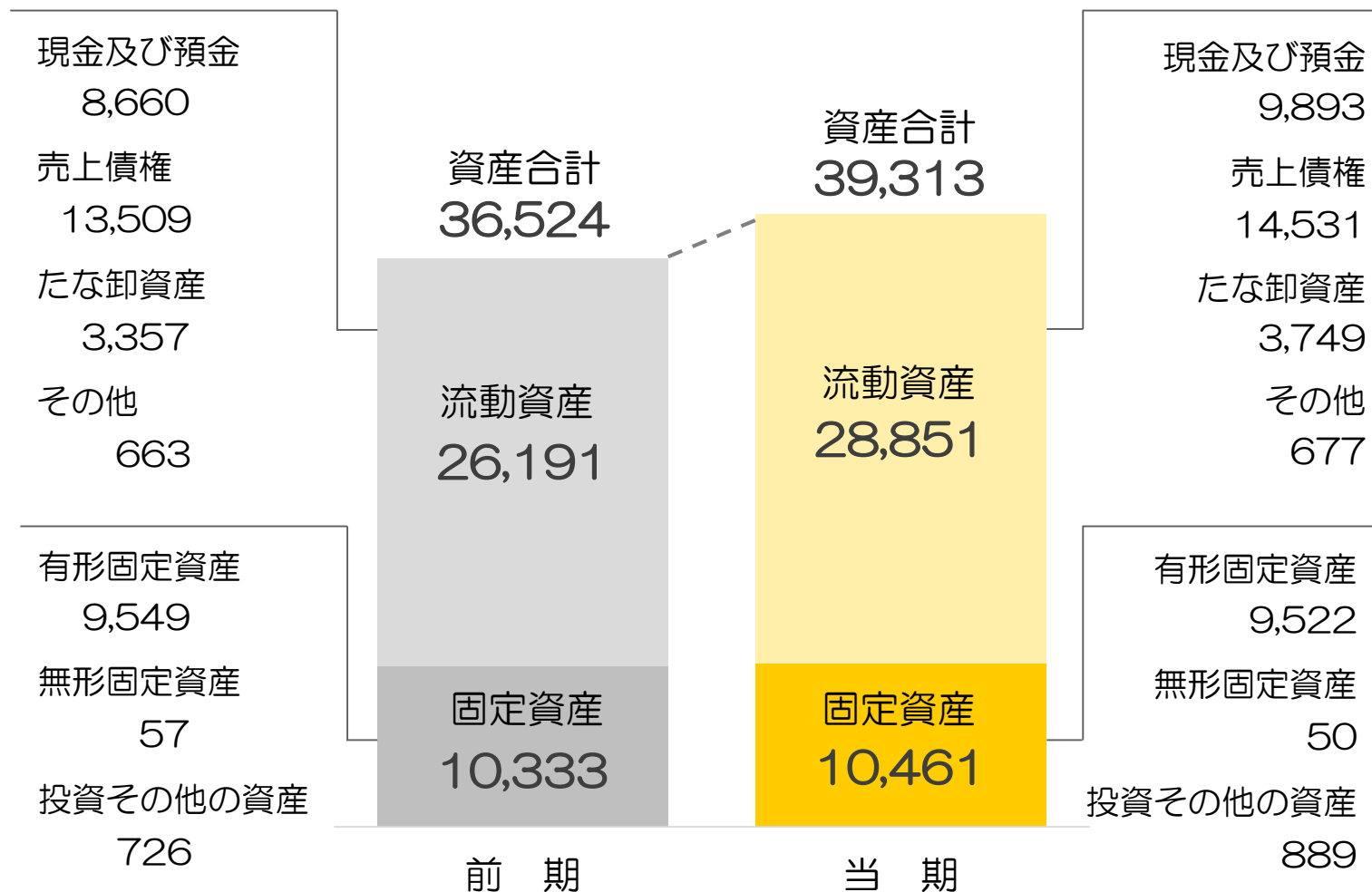
- 道路照明設備や、太陽光発電設備物件の増加
- メガソーラー物件の減少
- 売上総利益率の低下

営業利益の増減要因



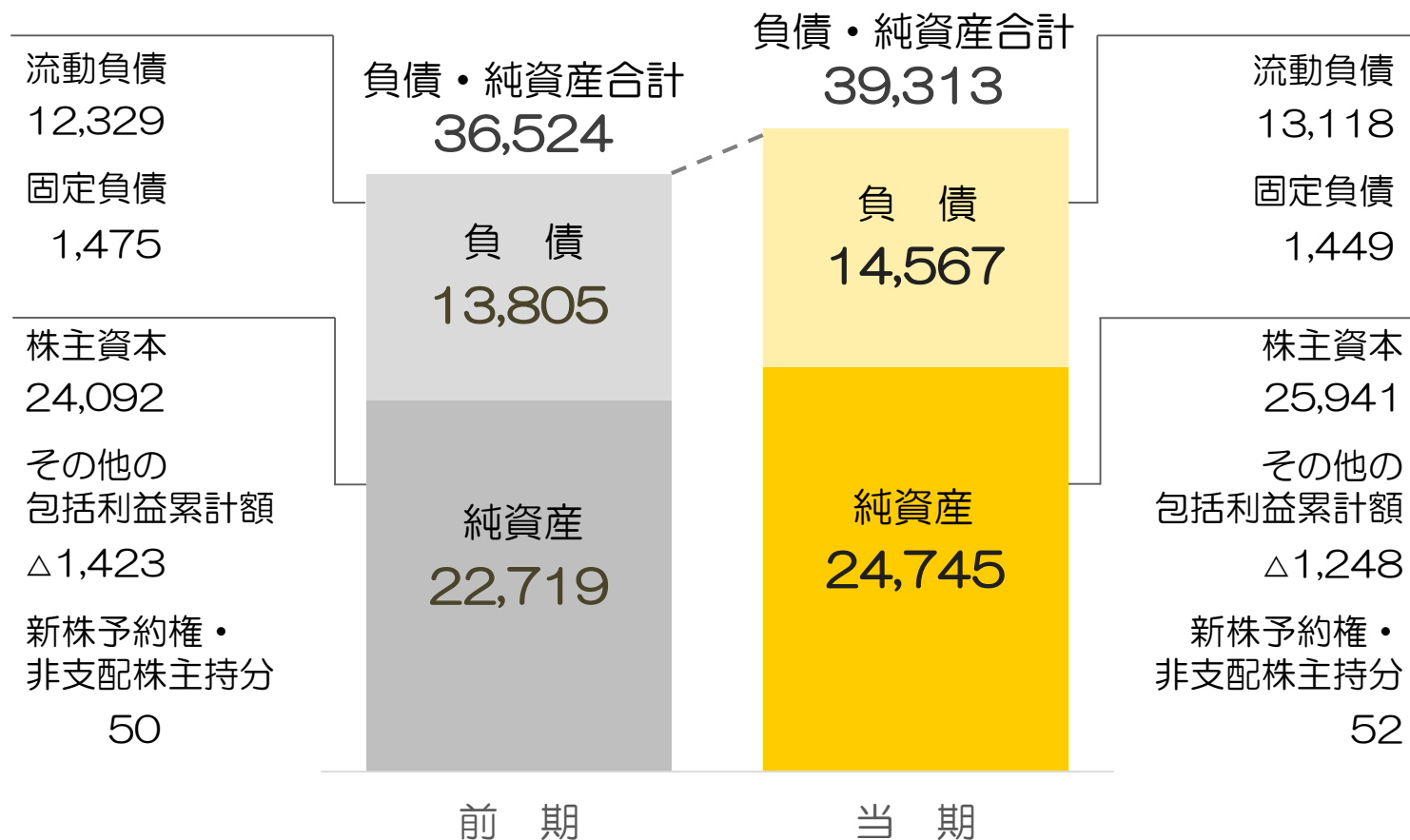
連結貸借対照表（資産の部）

（百万円）



連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（百万円）



連結株主資本等変動計算書



(百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額					新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額			
当期首残高	2,666	2,452	19,868	△ 894	199	△ 16	△ 1,510	2	△ 98	50	0	22,719
当期変動額												
剰余金の配当			△ 630									△ 630
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,523									2,523
自己株式の取得				△ 155								△ 155
自己株式の処分		32		79								112
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					110	0	－	14	51	1	△0	177
当期変動額合計	－	32	1,892	△ 76	110	0	－	14	51	1	△0	2,026
当期末残高	2,666	2,485	21,760	△ 970	309	△ 16	△ 1,510	16	△ 47	52	0	24,745

外部環境

- 国内 景気は緩やかに回復
- 海外 北朝鮮情勢の緊迫化
米国の通商政策
※ 各国の対応に注意

先行き不透明

関連業界

- 都市部の再開発工事
- 設備投資の増加
- 東京オリンピック・
パラリンピック需要
- 鋼材価格の高騰、
仕入原価の上昇

厳しい状況が続くと予想

次期連結業績計画

- 2018年3月期 ROE 10.7%
- 引き続き、目標ROE 10% 以上

(百万円)

	当 期	2019/3 計 画	前期比 (率)
売 上 高	52,811	55,316	+4.7%
営 業 利 益	3,537	3,733	+5.5%
経 常 利 益	3,655	3,833	+4.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,523	2,626	+4.1%

● 増収・増益 を目指す

(百万円)

	当 期	2019/3 計画	2020/3 計画	2021/3 計画
売 上 高	52,811	55,316	58,056	58,674
営 業 利 益	3,537	3,733	4,013	4,089
経 常 利 益	3,655	3,833	4,112	4,191
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,523	2,626	2,818	2,873

オーガニック成長

拠点展開

4つの成長戦略

自然災害への対応、インフラ整備

ノンコア事業成長

M&A戦略（企業の買収及び業務資本提携）

海外での取り組み

NEW 2018年4月 岡山営業所

全 60 販売拠点へ拡大

産業資材 30 拠点

鉄構資材 17 拠点

電設資材 13 拠点

<販売拠点>

● 産業資材

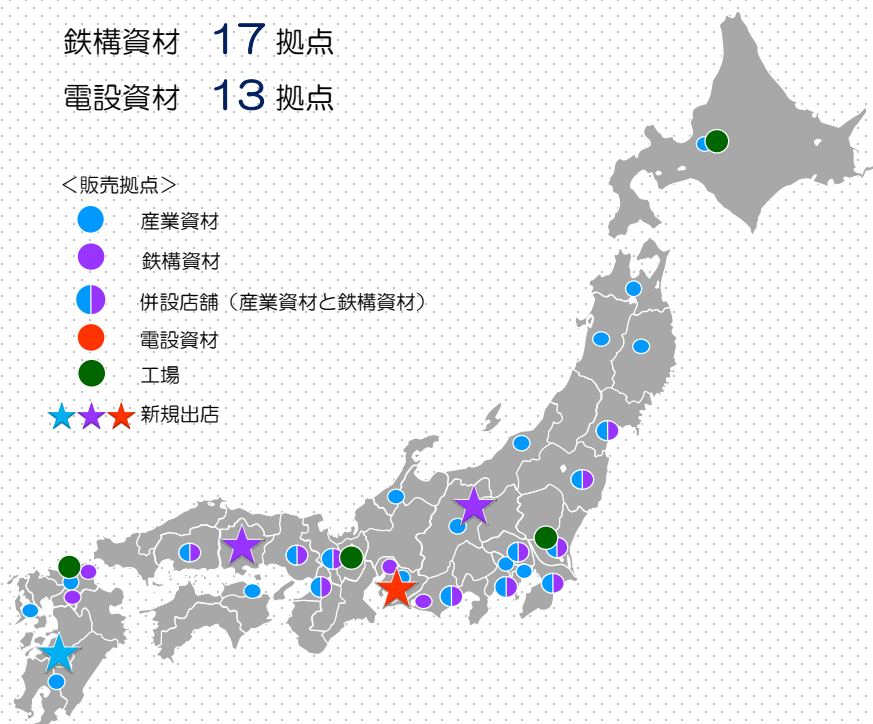
● 鉄構資材

● 併設店舗（産業資材と鉄構資材）

● 電設資材

● 工場

★ ★ ★ 新規出店



新規出店



2016年1月 長野営業所



2016年4月 熊本営業所



2017年4月 愛北営業所



2018年4月 岡山営業所

2006年 秋田営業所
福島営業所

2011年 東日本大震災

2012年 東北営業所

2015年 盛岡営業所

2017年 静岡営業所
<移転> 東海営業所

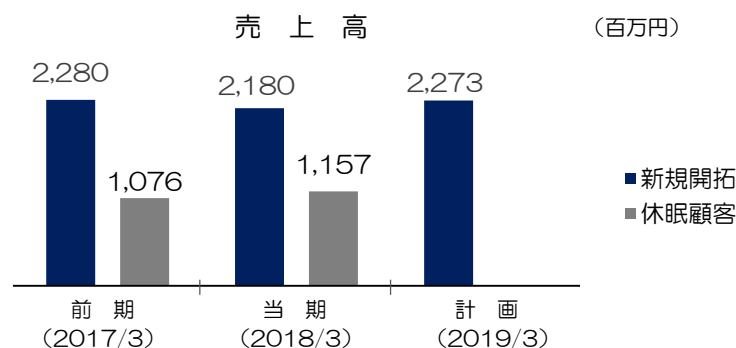
2017年 eコマースグループ

2017年 沖縄駐在所

4つの成長戦略

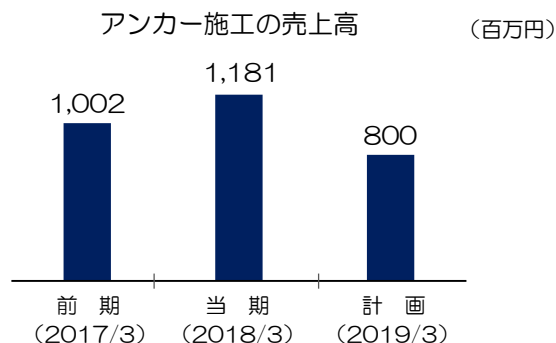
販売基盤の拡充

- 営業担当者が毎月1件の**新規販売先を開拓**
- 営業担当者が毎年10社の**休眠顧客の掘り起し**を実施



売り方の工夫

- アンカーボルトの納入だけでなく、**施工も実施**、販売領域を開拓
- 吊り具アドバイザー(社内認定資格)を設置し、「吊り具」の専門性を高め、**サービスの差別化**を図る



新商材の提供

- 営業部門、製造部門合同の新商材委員会を開催し、新商材開発に積極的に取り組んでおります。

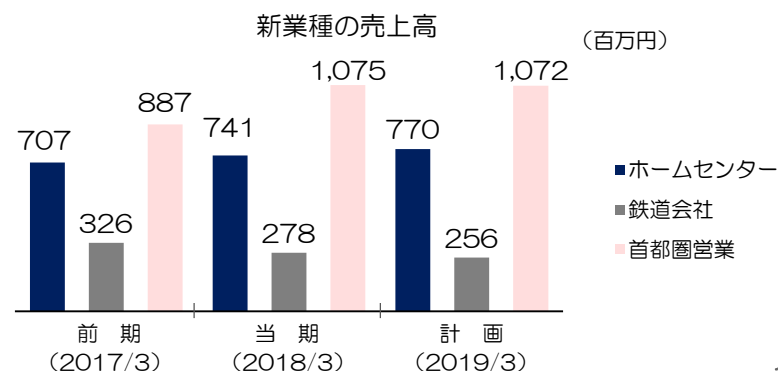
売上高 (百万円)

	前期	当期
角フックボルト	129	114
コンベース・エコ	120	127
イエローポイントシリーズ	15	31
アルプス印 鉄滑車	68	78



販売ルートの開拓

- ホームセンターや鉄道会社など**新業種への事業拡大**
- **首都圏専任担当者を設置**し、集中購買に対応、受注を獲得



自然災害への対応、インフラ整備

■ 熊本地震および東日本大震災関連資材の売上高(単体)推移 (百万円)

	売上高							
	東日本大震災					熊本地震		合 計
	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	
ブレース	200	18	87	153	202	—	—	662
トラ網セット	126	—	—	—	—	—	—	126
コンテナバッグ	281	263	316	308	293	33	13	1,509
ブルーシート	152	153	203	254	266	46	0	1,076
土のう袋	52	51	79	108	146	6	0	443
その他	239	187	200	307	380	68	54	1,438
合 計	1,053	674	887	1,132	1,288	154	68	5,258

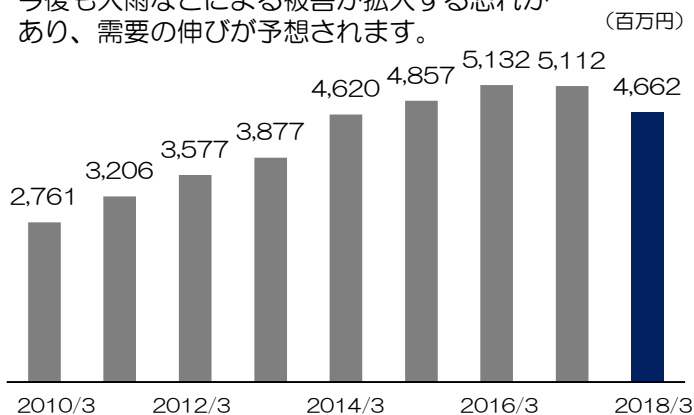
※2017年3月期より、熊本地震関連資材の売上高集計に切換え

がれき・除染土の収納されたコンテナバッグ仮置場



■ 異常気象関連資材の売上高(単体)推移

今後も大雨などによる被害が拡大する恐れがあり、需要の伸びが予想されます。



ブルーシート



防災シート類



コンテナバッグ



ネット・シート類



- 各営業拠点に、災害の現場で使用される資材を、在庫として備えております。
- 被災地域の早期復興のため、インフラ整備にも注力しています。

M & A戦略（企業の買収及び業務資本提携）



4つの視点



1. 隣接する業界

建設業界以外の業界に関わる
企業をM&Aし、事業の拡大を図る
実績：三和電材株式会社

2. 事業の深掘り

部材メーカー等をM&Aし、
既存事業を深掘りする
実績：中央技研株式会社

3. 事業エリアの拡大

海外拠点保有企業をM&Aし、
販売フィールドを拡大する

4. 販売形態の拡充

小売、カタログ販売、ネット販売
といった既存事業とは異なる販売
形態の企業をM&Aし、販売形態
を拡充する

2018年2月 エヌパット株式会社 業務資本提携契約締結

<会社概要>

商号	エヌパット株式会社
所在地	大阪市港区
事業内容	建築用金物の製造販売業
資本金	10百万円（2017年9月末時点）

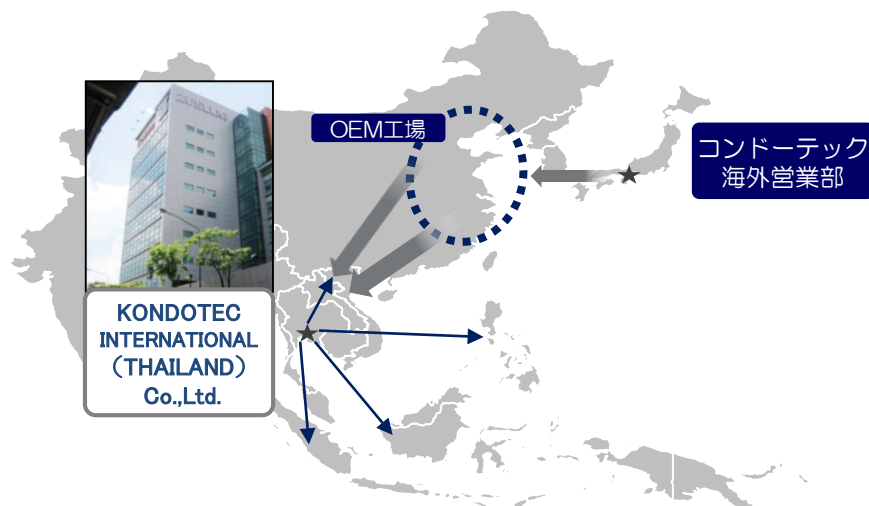
「あと施工アンカーボルト」や「インサート」を中心とした建築用金物の開発、製造、販売を行っており、「N-PAT」のブランド名で顧客ニーズに合わせた豊富な品揃えを展開し、販売活動を行っております。

<業務資本提携の内容>

業務提携	建築用金物の製造、販売における連携
資本提携	当社がエヌパット株式会社の発行済株式総数の5%を取得

海外での取り組み

タイ現地法人の会社概要



商 号	KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co.,Ltd.
所在地	タイ・バンコク市内
事業内容	産業資材、鉄構資材及び電設資材等の輸出入並びに販売
資本金	102百万タイバーツ（約316百万円） ※4百万バーツから増資
設立年月日	2012年11月1日

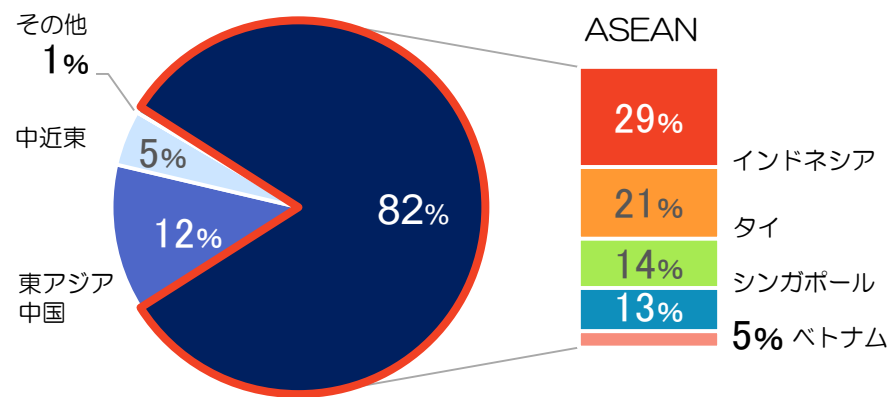
2018年3月期の状況

【海外売上高】

(百万円)

	前 期	当 期	計 画
海外営業部	78	50	64
タイ現地法人	206	233	302
合 計	284	283	366

【国別海外売上比率】



利益配分に関する基本方針

連結純資産配当率(DOE) 2.5%以上 を目標として、継続的・安定的に配当を行う。

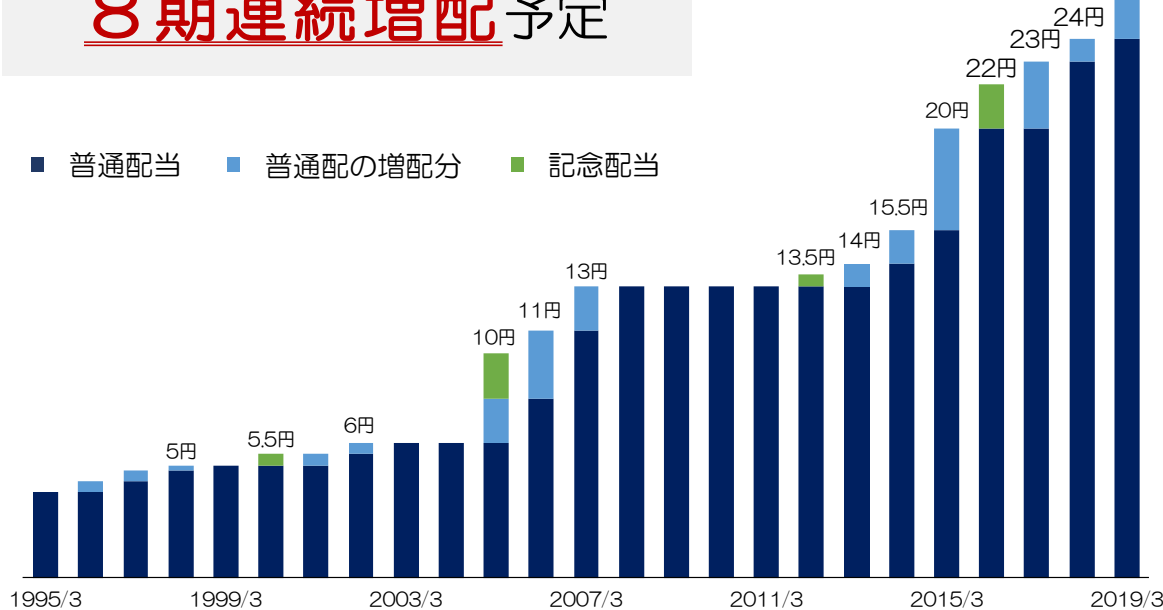
※ DOE = 配当性向 × ROE

1株当たりの年間配当金

上場以来、減配なし

8期連続増配 予定

■ 普通配当 ■ 普通配の増配分 ■ 記念配当



当期配当

中間 12円
期末 12円

次期配当

中間 13円
期末 13円

26円
予定

ご参考 当期実績

ROE	DOE	配当性向
10.7 %	2.7 %	25.5 %

自己株式の消却

消却した株式数 700,000 株

消却前の
発行済株式総数
に対する割合 2.5%

消却日 2018年6月1日

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 定款一部変更の件

第3号議案 取締役10名選任の件

第4号議案 監査役1名選任の件

<メモ>

<メモ>

<メモ>

見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。
それらにつきましては各資料作成時点においての経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。



コンドーテック株式会社